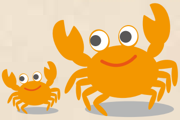
名木物語⑥

カヤの木の昔話

カヤ

天４　善養寺　野毛 2-7



善養寺のカヤは名木のカヤの中で最も幹周りが大きな木で、東京都の天然記念物にも指定されています。また幹には空洞があり、供養塔が安置されています。また、善養寺は多摩川の近くにあるお寺でこんな昔話が残っています。

昔、豪族のお姫様が富士山を眺めるために多摩川に遊びにきました。するとお姫様の足元にサワガニの親子が現れ、「今夜大雨が降るので安全な丘の上につれていってください。」とお願いをしました。お姫様は言われたとおりにサワガニの親子を運んであげました。その夜大雨が降って多摩川があふれ、あたり一帯は湖のようになってしまいました。翌日サワガニの親子がお姫様のもとに現れ、お礼に信仰の木と言われるカヤの木の種をくれました。そして、お姫様がその種をまいたところ、現在のような大きな木になったそうな。

このカヤの木は雌株で隔年で実を結ぶのだそうです。カヤの実は果肉（仮種皮（かしゅひ））を取るとアーモンドのような種子が入っています。多摩川は昭和初期ごろに堤防ができるまで台風のたびにあふれていました。そのとき田畑を流された農民はこのカヤの実を食べて飢えをしのいだとのことです。

チョウが来る木

チョウの幼虫の中には食べる葉が決まっている種類がいます。樹種を覚えて探してみると、卵を産みに来たチョウや葉を食べている幼虫に出会えるかもしれません。

エノキ

砧２

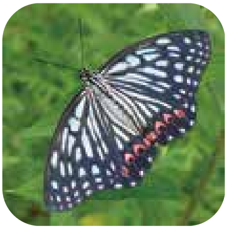
都立砧公園　砧公園1-1

枝を大きく広げた丸い樹形が美しい木です。枝張りは 20mを超えています。日本に昔からいるゴマダラチョウや、よく似たアカボシゴマダラなどの幼虫が葉を食べます。ゴマダラチョウは区内では珍しくなりました。アカボシゴマダラは特定外来生物（※）に指定されています。

※特定外来生物：外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定されています。外来生物法により取り扱いが規制されてます。

ゴマダラチョウ

ゴマダラチョウの幼虫



アカボシゴマダラ

クスノキ　34

世田谷山観音寺　下馬 4-9

　高さ 20mを超える樹形も美しい木です。葉を揉むとスーッとする樟脳（しょうのう）の香りがします。樟脳は防虫剤に使われます。
　黒地に水色の筋が美しい翅（はね）をもつアオスジアゲハの幼虫は、このクスノキの葉を食べて育ちます。

アオスジアゲハの成虫と幼虫

タブノキ　77

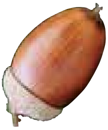
稲荷神社（上野毛）上野毛 3-22

　大きく枝を伸ばし、枝張りの大きな立派なタブノキです。写真の後ろ側は斜面になっており、斜面にしっかりと根を張っています。タブノキはクスノキ科の樹木で、この木もアオスジアゲハの幼虫が葉を食べます。葉は革質で表面に光沢があります。

木の実

名木の中にも様々な特徴的な実をつける木があります。
木の枝を見たり、木の下を探してみましょう。
※針葉樹も便宜上「実」と表記しています。

【どんぐり】

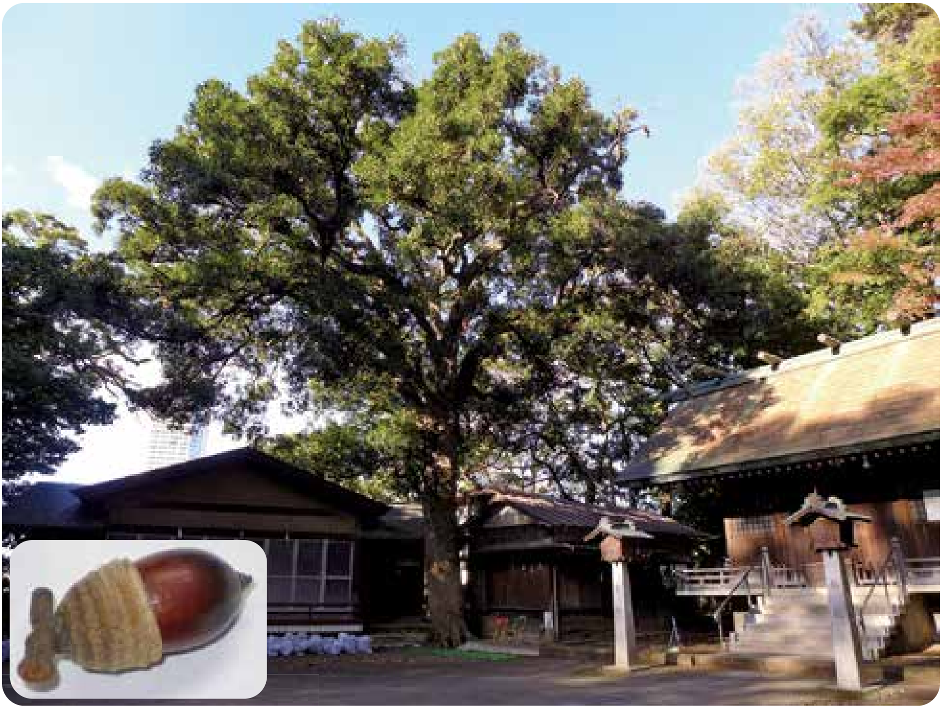


コナラ
（p.69、70）

スダジイ
（p.59、73）

クヌギ
（p.69、70）

アラカシ
（p.80）



アカガシ　1　稲荷神社（上野毛）　上野毛 3-22

20mを超える大木で、自然樹形を保った美しい木です。かつては世田谷区内でもアカガシが国分寺崖線に沿って多く分布していましたが、現在は珍しくなっています。殻斗（どんぐりの帽子）は横に縞模様が入り、やわらかい毛が生え、ベルベットのような手触りです。

名木物語⑦　桜小学校のオオアカガシ

アカガシ（オオアカガシ）

天2　区立桜小学校　世田谷 2-4

区立桜小学校のある場所には以前仙蔵院というお寺がありました。オオアカガシは今からおよそ 440 年前、その仙蔵院の墓地に松本帯刀という人が植えたといわれています。

昭和3（1928）年、創立 50 周年を記念して校歌がつくられました。歌詞は当時6年生だった女子児童が作ったものに「この道」などを作曲した北原白秋が手を加えて出来上がりました。歌詞の中にオオアカガシが「樫の木」として歌われています。学校行事のときなどに歌われる「桜の子」という歌にも「樫の木」は登場し、児童に親しまれています。また、古くから親しまれてきたこの木は昭和 47（1972）年に東京都の天然記念物に指定されています。

【松ぼっくり】

アカマツ 3

実相院　弦巻 3-29

　樹形が美しく幹肌もきれいな木です。樹皮が赤みを帯びることが名前の由来です。葉がクロマツより柔らかいことから、雌松または女松と呼ばれます。松ぼっくりは長さ 4 ～ 5cm の卵型です。

クロマツ（群） 44

神明神社（船橋神明神社）船橋 4-40

　参道にクロマツが並んでいます。入口の 1 本は特に大きく勇壮な樹形です。樹皮が黒っぽいことが名前の由来です。別名は雄松または男松で葉がアカマツより太く木全体も荒々しい感じがします。

　松ぼっくりは長さ 4 ～ 6cm でアカマツと同じくらいか少し大きめです。

ダイオウショウ　75

区立深沢二丁目緑地　深沢 2-13

　高さ 20mを超える大木です。北米東南部原産のマツで、葉は 20 ～ 30cmと長く、3本セットになっています。松ぼっくりも約 20cm と特大サイズです。この緑地は豪農の屋敷跡で、今も長屋門と土蔵が残され歴史が感じられます。

リギダマツ　園16

都立園芸高等学校　深沢 5-38

　高さ 20m近い大木で、松ぼっくりがたくさんなります。本種も北米東部原産で葉が 3 本セットになっています。アカマツと比べると葉の長さは同じくらいで、松ぼっくりの長さは3～9cmと少し大きめです。

ヒマラヤスギ 85

成城学園　成城 6-1

　三角形のきれいな樹形で 20mを超える大きな木です。名前にスギがついていますが、マツの仲間です。長さ 6 ～ 13cm の松ぼっくりをつけます。松ぼっくりは扇形の種鱗（しゅりん）がたくさん集まったもので、その間に種子が入っています。樹上で種鱗を開いて種子を風に乗せて飛ばします。

【松ぼっくりに似た実（ヒノキ科）】

コウヨウザン 園 6

都立園芸高等学校　深沢 5-38

　20mを超える 2 本立ちの大木で実もたくさんつけます。中国・台湾原産の樹木で「広葉杉」と書きます。松ぼっくりに似た実の先端はとがっています。